
12月は厚生労働省が定める「ハラスメント撲滅月間」 教育サービス提供企業リオーディア・ホールディングスが 「パワーハラスメントチェックアップ」を12月5日リリース

12月20日までの間、抽選で5団体に無料キャンペーンを実施

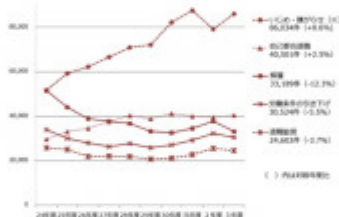
株式会社リオーディア・ホールディングス（本社：東京都港区、代表：千名 真直）は、2022年12月5日（月）に、グループ企業の株式会社緑の教育センター（代表：千名 友広）およびHRC人材開発パートナーズ株式会社（代表：田中 清貴）を連名で、法人向けに「パワーハラスメントチェックアップ」を発売します。

■「パワーハラスメントチェックアップ」の概要

WE B上で50個の設問に回答することによって、**自分自身がパワーハラスメントを起しているか否か**を診断できるツールです。

■パワーハラスメントの現状

パワーハラスメントは、近年、社会問題として顕在化しています。都道府県労働局等に設置した総合労働相談コーナーに寄せられる「いじめ・嫌がらせ」に関する相談は年々増加し、平成24年度には相談内容の中でトップとなりました。その後引き続き増加傾向にあり、令和3年度の相談件数は86,034件となっています。



出典：厚生労働省「令和3年度労働局総合労働相談件数調査報告書」

また、令和4年4月1日から、職場にパワーハラスメント防止措置を義務付けた改正労働施策総合推進法が施行されたことも、企業におけるパワーハラスメントに対する危機意識は急速に高まっています。

■「パワーハラスメントチェックアップ」の開催特徴

リオーディア・ホールディングスでは、「ビジネスパーソンの、自分がパワーハラスメントを起しているか否かを自己点検し、自己意識に立てていただくことで、多くの人がより安心して働ける社会にしたい」という思いから、この度、「パワーハラスメントチェックアップ」を開発いたしました。

<報道関係の方からのお問い合わせ>

株式会社リオーディア・ホールディングス 広報担当：田中 友広 TEL：03-6609-2894 MAIL：labogroup@ohdear.co.jp

■「パワーハラスメントチェックアップ」使用の流れ

ステップ1

「パワーハラスメントチェックアップ」を購入した企業の社員が、WE B上で50個の設問に回答します。

<設問>

- 自分が嫌なやつと気づいても、下位者に謝ることはないorできない
- 下位者の休みの理由を詳しく把握しておくことは上司の義務だ
- 能力不足を感じる下位者からは、仕事を奪おうとする
- 立場が下の人に対して、感情的な言葉を言う傾向がある
- 立場が下の人を、上位者の言いつけを聞くべきだ
- 反抗的な下位者には、上位者としての権力を誇って見せしめることがある
- 下位者や年下の人がからかわれるのをイヤにする
- 下位者の話に興味せず、一方的に話すことが多い
- 同僚や下位者に「そんなことでもできないのか」正他人に頼むばかりな発言がある
- 下位者を叱るとき、罵詔雑言を列挙することはない
- 自分の要求を満たさないと、責めを溜めると、圧力的な言い方になり
- 誰にでも、言うべきことを強く伝える人間でありたいと考えている
- たとえプライベートでの弱い立場でも、店員は自分（客）より立場が下だと思ってしまう
- 強い相手は、あつちよりに敬愛してしまう
- ストレスがあると、つい相手に当たったり、声を荒らげてしまう
- イヤイタしたとき、物にあたって罵詔雑言がある（机をたたき、椅子を倒すなど）
- 下位者の言葉が耳に入らない、スマホと攻撃を繰り返してしまうことがある
- 過去の不快な経験を引きずってしまう
- 相手に不快を感じると、その相手と口をきかなくなることがある
- 口では、偉いという「ガッパン」はききながらも自分に気づいている

続きの設問

HRC PPI-Ca		パワーハラスメントチェックアップ チェックシート	
No.	設問	回答	結果
1	自分が嫌なやつと気づいても、下位者に謝ることはないorできない	+	+
2	下位者の休みの理由を詳しく把握しておくことは上司の義務だ	+	+
3	能力不足を感じる下位者からは、仕事を奪おうとする	-	-
4	立場が下の人に対して、感情的な言葉を言う傾向がある	-	-
5	立場が下の人を、上位者の言いつけを聞くべきだ	+	+
6	反抗的な下位者には、上位者としての権力を誇って見せしめることがある	+	+
7	下位者や年下の人がからかわれるのをイヤにする	-	-
8	下位者の話に興味せず、一方的に話すことが多い	-	-
9	同僚や下位者に「そんなことでもできないのか」正他人に頼むばかりな発言がある	+	+
10	下位者を叱るとき、罵詔雑言を列挙することはない	+	+
11	自分の要求を満たさないと、責めを溜めると、圧力的な言い方になり	+	+
12	誰にでも、言うべきことを強く伝える人間でありたいと考えている	-	-
13	たとえプライベートでの弱い立場でも、店員は自分（客）より立場が下だと思ってしまう	-	-
14	強い相手は、あつちよりに敬愛してしまう	-	-
15	ストレスがあると、つい相手に当たったり、声を荒らげてしまう	+	+
16	イヤイタしたとき、物にあたって罵詔雑言がある（机をたたき、椅子を倒すなど）	+	+
17	下位者の言葉が耳に入らない、スマホと攻撃を繰り返してしまうことがある	-	-
18	過去の不快な経験を引きずってしまう	-	-
19	相手に不快を感じると、その相手と口をきかなくなることがある	+	+
20	口では、偉いという「ガッパン」はききながらも自分に気づいている	+	+

1/11/22

<報道関係の方からのお問い合わせ>

株式会社リオーディア・ホールディングス 広報担当：田中 友広 TEL：03-6609-2894 MAIL：labogroup@ohdear.co.jp

ステップ2

回答はリオーディア・ホールディングスに送られます。リオーディア・ホールディングスは、回答者一人一人の「パワーハラスメントチェックアップ診断書」を作成し、電子ファイルで企業の出当部署にお届けします。

ステップ3

企業の担当部署は、「パワーハラスメントチェックアップ診断書」を回答者に渡します。直読することもできますし、ハラスメント防止研修を通じて渡すこともできます。

回答者は、「パワーハラスメントチェックアップ診断書」に表された結果点と、7つの診断要素ごとの点差から、自分がパワーハラスメントを起しているか否かを自己点検します。

<7つの診断要素>

- 上位者としての権利意識
- コミュニケーション傾向
- ストレス対応

03-6809-2894
labogroup@riohdear.co.jp
